

中国の人権弾圧に抗議の声を!



64天安門事件から20年以上たちましたが、中国の人権状況はさらに悪くなっています…

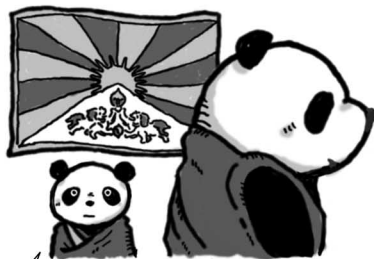


日本の隣国で起きていることです！隣人が自由や平和や人権を尊重しなかったら、あなたは どうしますか？

日本は中華人民共和国を支援してきました。ODA政府開発援助として、現在はアジア開発銀行を通して支援は続けられています。民族浄化、言論弾圧、人権侵害、環境破壊、文化破壊、宗教弾圧…私たち日本人の税金が長年、非人道的な中国政府の政策に使われています！

お金か人権か？

中国共産党の歴史を見て、私たち日本人がそれを支援してきたことを考えれば、私たちが間違っていたことは理解できると思います。田中角栄の日中国交正常化から小沢一郎の小沢訪中団まで、日本は中国の実態を直視せず、支援外交を続けています。日本は世界の工場、中国を支援したことで経済的に大きな発展をしたかもしれません。しかし私たちが知られないところでたくさんの犠牲があったことを、理解しなくてはならないのではないでしょうか？



パンダはチベットの動物だよ。中国政府の環境破壊で絶滅寸前なんだ。

真実のエコ。歴史ある文化が自然環境を守る。

ウイグル、チベット、南モンゴルは豊かな国土と歴史ある文化により、それぞれの民族が安定した暮らしを送っていました。しかし中国の侵略により、土地の風土に合わない生活を押し付けられたことで、文化や風習が破壊されただけでなく、多くの環境破壊も起こりました。その一つが日本に飛んでくる「黄砂」です。モンゴルの遊牧民が古くから続けている暮らしを壊し、無理に開拓し畑を作ったことにより砂漠化してしまったのが黄砂の原因です。現在、中国政府は砂漠を緑化しようしていますが、多くのモンゴル人は昔の生活に戻れば砂漠化が止まると信じています。それは長い歴史の中で、遊牧民たちが経験したことでもあるからです。

モラルなき資源外交、移民政策、中国政府の覇権主義に世界が警戒しています！

私たちは中国の圧力に抗議する様々な民族と、チベットやウイグルだけではなく、アフリカや欧米、台湾や南アジア、そして中国民主活動家の中国人たちと連携して、世界をより良くして行くために取り組んで行かなくてはならないのです。

偏見をなくそう！中国政府のプロパガンダに騙されないために。

ウイグル人はイスラム教を信仰しているため、911以降中国政府はアメリカの「テロとの戦い」を利用し、ウイグル人はテロリストだという偏見で弾圧を強めました。2009年の7月5日、ウルムチで起きた騒乱ではウイグル人の学生がデモの先頭で中国国旗を掲げ政府に訴える平和的な抗議を行いました。しかし中国政府の答えは武装警察の無差別発砲による武力制圧でした。ウルムチ事件以降、中国政府はウイグル人の国際機関、世界ウイグル会議が暴動を扇動したと武力制圧を正当化するプロパガンダを世界に発信しています。

アムネスティが「ウイグル人として生きる権利を」キャンペーン中！詳細はネットで。

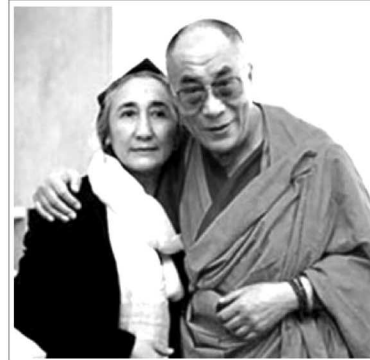


ウイグル人は豚肉を食べないよ。宗教や他民族の文化を理解しよう。



支援の方法 真実を知るために！インターネットで検索！ 検索

それぞれの民族の団体や支援団体、そして世界の人権団体のサイトにアクセスしよう。世界ウイグル会議/日本ウイグル協会/ダライ・ラマ法王日本代表部事務所/Students for a Free Tibet: 日本/モンゴル自由連盟党/内モンゴル人民党/アムネスティ・インターナショナル日本/Human Rights Watch/ラジオフリーアジア…インターネットで調べたら…本を読もう！映画を観よう！講演会やイベントに参加してみよう！



鳩山首相夫妻はダライ・ラマ法王とチベット支援者。次の訪日で首相としてチベット議連の国会議員として会ってほしいものです…

2010年5月にラビア・カーディルさんが、6月にダライ・ラマ法王が訪日

ラビア・カーディル…ウイグル人権活動家で「ウイグルの母」と呼ばれるウイグル人のリーダー。ラビアさんはウイグルで女性実業家として活躍していましたが、中国政府を批判したために1996年に逮捕監禁。2005年にアムネスティやヒューマンライツウォッチなどの人権団体やアメリカ政府の働きで解放され、アメリカに亡命。2006年にはノーベル平和賞の候補者の一人に選ばれました。現在はウイグル人の世界組織、世界ウイグル会議の総裁として活動を続けています。2010年2月にはスイスの国連本部で開かれた第4回死刑廃止世界大会でウイグル問題をアピール、日本では自伝「ウイグルの母 ラビア・カーディル自伝 中国に一番憎まれている女性」も出版されています。講演会の詳細は日本ウイグル協会のホームページをご覧ください。http://uyghur-j.org

ダライ・ラマ14世…チベット民族の国家的、精神的指導者であり、インドにあるチベット亡命政府ガンデンポタン。1950年、中国共産党の人民解放軍がチベット制圧。1959年、中国の支配に苦しんだ人々が蜂起したが中国政府は容赦なき弾圧を加え、ダライ・ラマ14世はインドに亡命する。1989年にノーベル平和賞受賞。今回の来日では、北京オリンピックの聖火リレーで中国大使館に動員された中国人とチベット支援者の騒乱が起きた長野を訪れます。来日の詳細は、ダライ・ラマ法王日本代表部事務所のホームページをご覧ください。http://www.tibethouse.jp

ラビアさんはウイグル民族の自決権を、ダライ・ラマ法王はチベットの高度な自治を訴えています。



Radio Free Uyghur Japan ラジオフリーウイグルジャパン
Asian Freedom アジアンフリーダム
http://rfuj.net
ASIAN FREEDOM NEWS JAPAN アジアンフリーダムニュースジャパン
http://afnj.org

